中部社研経済レポート

当財団では、中部圏の社会・経済に関するタイムリーな話題を、平易かつ簡潔に解説するために中部社 研経済レポートを発行しております。

No.33となる今回は、7月29日に発表したレポートを掲載いたします。 なお、今回のレポートに関して、北國新聞、富山新聞に掲載されました。

中部圏景気基準日付(景気の暫定山)の設定について

公益財団法人中部圈社会経済研究所研究部上席研究員 難波 了一

公益財団法人中部圏社会経済研究所では、中部圏景気動向指数有識者会議の検討を踏まえて、中部圏の 景気の山谷を示す「中部圏景気基準日付」を設定している。

このたび、有識者会議メンバーである

大正大学地域構想研究所教授 小峰 隆夫先生(有識者会議座長) 大阪経済大学経済学部教授 小巻 泰之先生

のお二人から、足元の経済状況を鑑み、中部圏景気基準日付(景気の暫定山)の設定についてご検討をい ただいた。

当財団では、上記のご検討の結果を踏まえて、中部圏(東海3県(岐阜、愛知、三重)、北陸3県(富 山、石川、福井)、中部5県(長野、岐阜、静岡、愛知、三重)、中部9県(富山、石川、福井、長野、岐 阜、静岡、愛知、三重))の景気の暫定山について、図表1のとおり設定した。

本レポートは、検討過程において使用した資料をまとめ、今次の景気局面の特徴について解説するもの である。

1. CI-致指数とヒストリカルDIの動 きについて

ここでは、今次の景気局面を概観するため、東海3県、北陸3県、中部5県、中部9県のそれぞ れについて、CI一致指数とヒストリカルDIの動 きを確認する。 CI (コンポジット・インデックス) は、景気 変動の大きさやテンポを測定することを主な目的 とする指数であり、なかでも一致指数は景気の現 状を示す。経済指標の中から特に景気の動きに対 して敏感に反応するいくつかの系列を選び、それ らの系列の前月からの変化の大きさを合成するこ とで、一本の指数としたものである。

(※2)「中部圏景気基準日付の設定(東海3県)」
(http://www.criser.jp/bunnseki/documents/2021.05.13_01_keikikijun_tokai3_settei.pdf)、
「中部圏景気基準日付の設定(北陸3県)」
(http://www.criser.jp/bunnseki/documents/documents/2021.05.13_02_keikikijun_hokuriku3_settei.pdf)、
「中部圏景気基準日付の設定(中部5県)」
(http://www.criser.jp/bunnseki/documents/2021.05.13_03_keikikijun_chubu5_settei.pdf)、
「中部圏景気基準日付の設定(中部9県)」
(http://www.criser.jp/bunnseki/documents/2021.05.13_04_keikikijun_chubu9_settei.pdf)。
下中部圏景気基準日付の設定(中部9県)」
(http://www.criser.jp/bunnseki/documents/2021.05.13_04_keikikijun_chubu9_settei.pdf)。
なお、本レポートでは扱っていない2017年以前の景気の山と谷の候補についての考察は、「中部圏景気基準日付の設定(付属資料)」
(http://www.criser.jp/bunnseki/documents/2021.05.13_05_keikikijun_settei_fuzoku.pdf)を参照。

 ^{(※1) 2016}年11月に初めて開催された中部圏景気動向指数有識者会議と、その時点における中部圏景気基準日付の設定については、資料「中部圏景 気基準日付の設定と中部圏景気動向指数の概要について」(http://www.criser.jp/research/documents/2016.11.30gaiyou_doukou3.pdf)を参 昭。

図表1 中部圏景気基準日付

東海3県

	谷		谷		期 間	
	谷	Ш	谷	拡張	後退	全期間
(東海3県版)			2009年3月			
第15循環	2009年3月	2012年4月	2012年11月	37か月	7か月	44か月
第16循環	2012年11月	(暫定) 2019年 4 月		77か月		

北陸3県

	谷		谷		期 間	
	谷	Ш	谷	拡張	後退	全期間
(北陸3県版)			2009年4月			
第15循環	2009年4月	2011年6月	2012年2月	26か月	8か月	34か月
第16循環	2012年2月	(暫定) 2018年 8 月		78か月		

中部5県

	谷		谷		期 間	
	台	Ш	台	拡張	後退	全期間
(中部5県版)			2009年3月			
第15循環	2009年3月	2012年4月	2012年11月	37か月	7か月	44か月
第16循環	2012年11月	(暫定) 2018年12月		73か月		

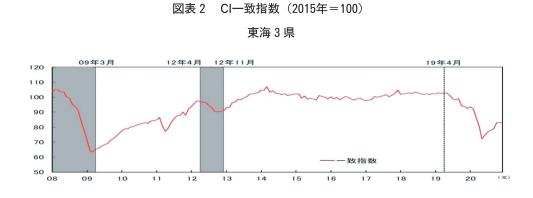
中部9県

	谷		谷		期 間	
	谷		台	拡張	後退	全期間
(中部9県版)			2009年3月			
第16循環	2009年3月	(暫定) 2018年10月		115か月		

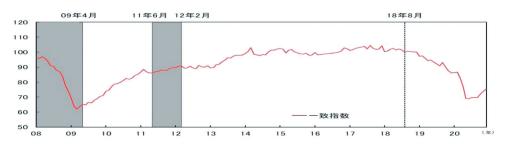
図表2は各地域のCI一致指数の動きを示して いる。東海3県では、直近の谷である2012年11月 以降、いわゆる「アベノミクス」が本格化した 2013年中に大きく上昇した。2014年に入ると、4 月に実施された消費税増税の影響もあり、横ばい からやや下落基調で推移したが、2017年前後から は東海3県の景気は外需、特に米国経済の好調な どに下支えされ、再びCI一致指数が上昇傾向と なった。2019年後半からは、米中貿易戦争を背景 に世界経済の先行きに対する不透明感が高まった ことに加え、10月に実施された消費税増税の影響 もあって指数は下落に転じた。さらに、2020年に

入ると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で 下げ幅を急速に拡大した。後述するとおり、ヒス トリカルDIによる東海3県の景気の山の候補は 2019年4月となるが、CI一致指数の局所的なピー クは2019年5月である。

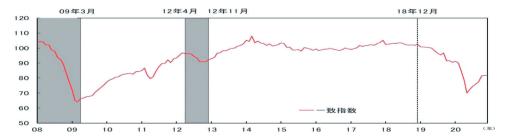
北陸3県では、直近の谷である2012年2月以降 横ばいでの推移となったが、東海3県同様、「ア ベノミクス」が本格化した2013年中に大きく上昇 した。その後は、多少の変動を見せつつもほぼ横 ばいでの推移となったが、2018年後半から米中貿 易戦争を背景に中国経済の減速が明らかになると、 中国・韓国などアジア向け輸出割合が大きい北陸

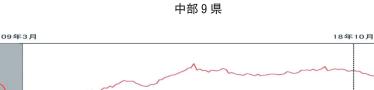


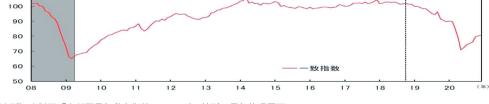












(出所)当財団「中部圏景気動向指数」。シャドー箇所は景気後退局面。

3県においては、CI一致指数は下落基調となっ た。さらに、2019年の消費税増税で一段と落ち込 み、2020年の新型コロナウイルス感染症拡大の影 響で下げ幅を急速に拡大した。後述するとおり、 ヒストリカルDIによる北陸3県の景気の山の候 補は2018年8月となるが、CI一致指数の局所的

120 110

なピークは、それ以前の2017年後半にある。

中部5県の一致指数は、概ね東海3県の指数と 同様の推移となったが、2018年後半から2019年前 半にかけて緩やかな下落が始まっていた。後述す るとおり、ヒストリカルDIによる中部5県の景気 の山の候補は2018年12月となるが、CI一致指数の 局所的なピークは2017年末から2018年中にある。

中部9県の一致指数は、中部5県と北陸3県の 指数の特徴を合わせた推移となった。なお、中部 9県の直近の谷は2009年3月である。2013年まで 上昇基調を続けた後、2014年に入ると、横ばいか らやや下落基調で推移したが、2017年前後からは、 再びCI一致指数が上昇傾向となった。中部5県 と同様、2018年後半から緩やかな下落が始まって いたが、中部5県よりも落ち込みが大きく、相対 的に北陸3県の推移に近かった。後述するとおり、 ヒストリカルDIによる中部9県の景気の山の候 補は2018年10月となるが、CI一致指数の局所的 なピークは2017年末から2018年中にある。

次に、図表3は、各地域のヒストリカルDIの 推移を示したものである。DI(ディフュージョ ン・インデックス)は、景気拡張(後退)の動き の各経済部門への波及度合いを測定することを主 な目的とする指数である。CIと同様、経済指標 の中から特に景気の動きに対して敏感に反応する いくつかの系列を選ぶが、DIの場合は、それら のうち変化方向がプラスである系列の割合を計算 することで、一本の指数とする。特にヒストリカ ルDIは個々の系列に山と谷を設定し、谷から山 にいたる期間はすべて変化方向をプラス、山から 谷にいたる期間はすべてマイナスとして、DIを 算出したもので、景気転換点(山・谷)の判定に 利用される。具体的には、ヒストリカルDIが50 (%)を下回る直前の月を景気の山、上回る直前 の月を景気の谷の候補と考える。

東海3県のヒストリカルDIの推移を確認する と、2018年中は50(%)を上回って推移してきた ものの、2019年5月に33.3(%)まで低下し、50 (%)を下回ったことがわかる。5月には、岐阜 県の生産指数(鉱工業)、所定外労働時間、有効 求人倍率(除学卒)、愛知県の有効求人倍率(除 学卒)、三重県の投資財出荷指数がマイナスに転 じている。つまり、主として岐阜県の経済指標が 下降に転じたタイミングであったと言える。なお、 2019年5月には、ヒストリカルDIの水準が3分 の1以下となっており、経済活動の収縮が多くの 経済部門に波及したことが確認できる。したがっ て、50(%)を下回った直前の月である2019年4 月が景気の山の候補となる。

北陸3県のヒストリカルDIの推移を確認する と、2018年7月に50(%)を下回り、8月に再度 50(%)を上回った後、9月に42.9(%)まで低 下し、以降50(%)を下回って推移したことがわ かる。9月には、富山県と福井県の有効求人倍率 (除学卒)がマイナスに転じている。つまり、雇 用面の指標が下降に転じたタイミングであったと 言える。なお、10月には、ヒストリカルDIの水 準が3分の1以下となっており、経済活動の収縮 が多くの経済部門に波及したことが確認できる。 したがって、2018年8月が景気の山の候補となる。

中部5県のヒストリカルDIの推移を確認する と、東海3県と同様、2018年中は50(%)を上回っ て推移してきたものの、2019年1月に45.7(%) まで低下し、50(%)を下回ったことがわかる。 1月には、長野県の生産指数(鉱工業)、岐阜県 の鉱工業用生産財出荷指数、愛知県の百貨店・スー パー販売額(前年同月比)、三重県の生産指数 (鉱工業)がマイナスに転じている。つまり、主 として生産面の指標が下降に転じたタイミングで あったと言える。なお、5月には、ヒストリカル DIの水準が3分の1以下となっており、経済活 動の収縮が多くの経済部門に波及したことが確認

^(※3)なお、ここで、複数県を内包する地域においては、ヒストリカルDIを下記の3種類定義できることに注意したい。

①系列別・県別(○○県の生産指数(鉱工業)等)に山谷をつけて、東海3県であれば7系列×3県(=21)を母数としてヒストリカルDIを 計算したもの(⇒ヒストリカルDI-Aと呼ぶ)。

②系列別に山谷をつけて、7系列を母数としてヒストリカルDIを計算したもの。なお、ある系列について過半の県(東海3県であれば2県以上)に山(谷)がついたところをその系列の山(谷)とする(⇒ヒストリカルDI-Bと呼ぶ)。

③県別に山谷をつけて、東海3県であれば3県を母数としてヒストリカルDIを計算したもの。なお、ある県について過半の系列(4系列以上) に山(谷)がついたところをその県の山(谷)とする(⇒ヒストリカルDI-Cと呼ぶ)。

図表3で示しているのは、ヒストリカルDI-Aのみである。後述のとおり、3種類のヒストリカルDIが示す景気の山候補が異なっていた場合、 CI一致指数等の動きを参考に1つに絞ることとなる。結果的に、東海3県、北陸3県、中部5県、中部9県のいずれにおいても、ヒストリ カルDI-Aが示す景気の山候補に絞られる。

図表 3	ヒスト	ヽリカ	ルDI-A
------	-----	-----	-------

東海3県

		T					201	8年											201	9年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	景気基準日付																Ш								
C1	生産指数(鉱工業)																								
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C2	鉱工業用生産財出荷指数																								
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+
C3	耐久消費財出荷指数																								
	岐阜県	-	-	-	-	I	I	I	-	-	I	-	-	I	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	1	I	-	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	I	-	-	-	1	I	-	-	-
C4	所定外労働時間(調査産業計)																								
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-
C5	投資財出荷指数																								
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-
	愛知県	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	I	1	-	-	-	I	-	-	-	1	I	-	-	-
	三重県	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	I	-	-
C6	百貨店・スーパー販売額(前年同月比)																								
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	I	-	-	I	-	-	-	-	-	I	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C7	有効求人倍率(除学卒)																								
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	I	I	-	-	-
	愛知県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	I	-	-	-	I	I	I	-	-
	拡張系列数	15	i 15	14	15	15	15	14	13	14	15	15	16	13	12	12	12	7	5	4	4	4	3	3	3
	採用系列数	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
	ヒストリカルDI	71.49	71.4%	66.7%	71.4%	71.4%	71.4%	66.7%	61.9%	66.7%	71.4%	71.4%	76.2%	61.9%	57.1%	57.1%	57.1%	33.3%	23.8%	19.0%	19.0%	19.0%	14.3%	14.3%	14.3%

							202	0年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	景気基準日付					谷							
C1	生産指数(鉱工業)												
	岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
C2	鉱工業用生産財出荷指数												
	岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C3	耐久消費財出荷指数												
	岐阜県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
C4	所定外労働時間(調査産業計)												
	岐阜県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5	投資財出荷指数												
	岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
C6	百貨店・スーパー販売額(前年同月比)												
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C7	有効求人倍率(除学卒)												
	岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	拡張系列数	3	3		2	2	11	12	12	12	12	12	12
L	採用系列数	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
	ヒストリカルDI	14.3%	14.3%	14.3%	9.5%	9.5%	52.4%	57.1%	57.1%	57.1%	57.1%	57.1%	57.1%

中部圈研究 *2021.9*

北陸3県

								201	8年											201						
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	景気基準日付							크	谷	E																
C1	生産指数(鉱工業)																									
		富山県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	I	-	-	-	-	-	-	I	I	I	I	-
		石川県	-	-	-	-	I	1	-	-	-	I	I	1	I	-	-	-	-	-	-	-	I	I	I	-
	:	福井県	+	+	+	+	I	I	-	-	-	I	I	I	I	-	-	-	-	-	-	-	-	I	I	-
C2	鉱工業用生産財出荷指数																									
		富山県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	I	I	I	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-
		石川県	-	-	-	-	I	I	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	I	I	I	-
	:	福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C3	耐久消費財出荷指数																									
		富山県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	I	I	I	I	-
		石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	:	福井県	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-
C4	所定外労働時間(調査産業計)																									
		富山県	-	-	-	-	I	I	-	-	-	I	I	I	I	-	-	-	-	-	-	I	I	I	I	-
		石川県	-	-	-	-	I	1	-	-	-	I	I	-	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-
	:	福井県	+	+	+	+	+	+	-	-	-	I	I	I	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-
C5	投資財出荷指数																									
		富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	:	福井県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-
C6	百貨店・スーパー販売額(前年同月	比)																								
		富山県	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		石川県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	:	福井県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C7	有効求人倍率(除学卒)								-																	
		富山県	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		石川県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-
		福井県	+	+	+	+	+	+	+	+	-	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	拡張系列数		12	12	12	13	12	12	10	11	9	7	7	5	4	3	3	2	2	1	1	1	0	0	0	0
	採用系列数		21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
	ヒストリカルDI		57.1%	57.1%	57.1%	61.9%	57.1%	57.1%	47.6%	52.4%	42.9%	33.3%	33.3%	23.8%	19.0%	14.3%	14.3%	9.5%	9.5%	4.8%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

							202	0年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	景気基準日付												
C1	生産指数(鉱工業)												
	富山県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福井県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
C2	鉱工業用生産財出荷指数												
	富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福井県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
C3	耐久消費財出荷指数												
	富山県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C4	所定外労働時間(調査産業計)												_
	富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
05	福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5	投資財出荷指数	-	-	-	-							+	
	富山県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	石川県 福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C6	価井県 百貨店・スーパー販売額(前年同月比)	_	_	_	_		_	_	_	_		_	_
00	自負点·久 八 滅光敏(前午向方比) 富山県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	面田来	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
	福井県	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
C7	有効求人倍率(除学卒)												
	富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	拡張系列数	1	1	1	1	3	8	8	8	8	8	8	8
	採用系列数	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
	ヒストリカルDI	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	14.3%	38.1%	38.1%	38.1%	38.1%	38.1%	38.1%	38.1%

							201	8年											201	9年				-	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	景気基準日付												Ē												
C1	生産指数(鉱工業)																								
	長野県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	静岡県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C2	鉱工業用生産財出荷指数																								
	長野県	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	静岡県	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+
C3	耐久消費財出荷指数																								
	長野県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-
	静岡県	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C4	所定外労働時間(調査産業計)																								
	長野県	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-
C5	投資財出荷指数																								
	長野県	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-
	静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
C6	百貨店・スーパー販売額(前年同月比)																								
	長野県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	静岡県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C7	有効求人倍率(除学卒)																								
	長野県	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	静岡県	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	拡張系列数	24	25	25	25	23	24	23	21	21	22	20	20	16	15	15	15	10	8	7	7	7	5	5	
	採用系列数	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	
	ヒストリカルDI	68.6%	71.4%	71.4%	71.4%	65.7%	68.6%	65.7%	60.0%	60.0%	62.9%	57.1%	57.1%	45.7%	42.9%	42.9%	42.9%	28.6%	22.9%	20.0%	20.0%	20.0%	14.3%	14.3%	14.3%

中部5県

							202	0年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	景気基準日付						谷						
C1	生産指数(鉱工業)												
	長野県	-	-	1	I	I	-	1	-	-	-	1	-
	岐阜県	-	١	١	I	I	1	1	-	1	1	١	-
	静岡県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	١	١	I	I	+	+	+	+	+	+	+
C2	鉱工業用生産財出荷指数												
	長野県	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
	岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	静岡県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C3	耐久消費財出荷指数												
	長野県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	岐阜県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	静岡県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
C4	所定外労働時間(調査産業計)												
	長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岐阜県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5	投資財出荷指数												
	長野県	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	静岡県	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
C6	百貨店・スーパー販売額(前年同月比)												
	長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	静岡県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C7	有効求人倍率(除学卒)												
	長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L	静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	拡張系列数	5	4	4			17	19	19	19	19	19	19
	採用系列数	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
	ヒストリカルDI	14.3%	11.4%	11.4%	8.6%	11.4%	48.6%	54.3%	54.3%	54.3%	54.3%	54.3%	54.3%

中部9県

	1					201	8年						(201	9年					
	1月	2月	3月	4月	5月			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		7月	8月	9月	10月	11月	12月
景気基準日付								<u> </u>		F		<u> </u>	<u> </u>		—									
C1 生産指数(鉱工業)	+	+		+	+	+	+	+	+	\vdash	+		<u> </u>		—									
富山県石川県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	_	_	_	_	_	_	_	-			-	_	_
	+	+	+	+	_	_	-	_	_	_	_		_	_	_	_	_	-	-	-	_	_	_	_
長野県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-
三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-
C2 鉱工業用生産財出荷指数								<u> </u>													_			
富山県	+	+	+	+	+	+	+	+	+		-			-	-	-	-	-		-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	_		+	+	+	+	+	+	+	+	-	_	-	_			_	_	
<u>福井県</u> 長野県	+	+	+	-	-	_	_			\vdash	_		_	_	_	_	-	_	-	-	_	-	_	_
	- -	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+	_	_		_			_		_		_	_
静岡県	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+
滋賀県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C3 耐久消費財出荷指数									1															
富山県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		-	-	
長野県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	- +	-	-	-	
岐阜県	-	-	+	+	+	- +	- +	- +	- +	+	- +		_	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	_
	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	_	_	_	_	-	_	_
	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	- T		- T	- T		-		_	_	_	_
二 里示 注意	- T	- T	- T	Ŧ	- T	- T	- T	- T			T		- T	_		_			_				_	_
C4 所定外労働時間(調查産業計)																								_
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-
愛知県	+	+	+	+	+	+	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		-	-	-	-	-
<u>滋賀県</u> C5 投資財出荷指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-
C5 投資財出何指数 富山県			-	_		-		-			-					-		-	-				-	-
	_	_			_	_		_						_		_		_	-		-		_	-
11月	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-
長野県	+	+	+	+	_	_	-	-	_		_			_		_	+	+	+	+	+	+	+	+
岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C6 百貨店・スーパー販売額(前年同月比)																								
富山県	+	+ +	+	+	+	+	- +	- +	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	+ +	+ +	+ +	++	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	- +	+	- +				_							-	-
	1 -	- T	+	+	+	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+		-	-
	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
静岡県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
愛知県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
滋賀県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+
C7 有効求人倍率(除学卒)																								
富山県	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-		-	-		-	-	-		-		-	-	-
石川県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		-	-		-	-	-			_	-	-	-
福井県	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-			-	-		-	-					-	-	-
長野県	+	+	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+	+	+	+	+	- +	- +	+	-	-	-	_		-	-	-
岐阜県 静岡県	+	+	+ +	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	_	-	-	_	-
	+	+	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	- +	+	+		-	-				_	-
<u>愛知県</u> 三重県	+	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	<u> </u>	+			_	_				_	-
<u>一里</u> 界 滋賀県	+	+	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +							_					_	_
拡張系列数	42	43		44	41	42	39		- 36	- 34	30	27	22		20	19	14	11	- 9	10	- 9	- 6		
				63	63	63	63	63				63		63			63	63		63				
	63	63																						
	63 66.7%	63 68.3%	63 68.3%			66.7%			63 57.1%	63 54.0%	63 47.6%		63 34.9%		63 31.7%	63 30.2%						63 9.5%		

_

00004

		2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	景気基準日付												
C1	生産指数(鉱工業)												_
	富山県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	石川県	-	-	-	-	-	- +	- +	- +	- +	- +	- +	- +
	福井県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	<u>長野県</u> 岐阜県		_							_		_	_
	10 中原 静岡県	-	_	_	_	_	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C2	鉱工業用生産財出荷指数												
	富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	石川県	-	-	-	-	1	1	1	I	-	1	1	-
	福井県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	長野県	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
	岐阜県	-	-	-	_	-	- +	- +	- +	- +	+	- +	- +
	静岡県	-	-	-	_	-	+ +	+ +	+ +	+ +	+	+ +	+ +
	愛知県				-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県 滋賀県	+	+	+	-	-	+	+	+	+	+	+	+
СЗ	耐久消費財出荷指数	_	_	_	_	_	Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ		
03	前八消夏國出海指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	長野県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	岐阜県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	静岡県	-	-	-	-	1	+	+	+	+	+	+	+
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	<u>滋賀県</u>	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
C4	所定外労働時間(調査産業計)					_	_						
	富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	<u>福井県</u> 長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_
			_				+	+	+	+	+	+	+
	静岡県	-	_	_	_	_	-	-	-	_	-	_	-
	愛知県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	滋賀県	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
C5	投資財出荷指数												
	富山県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	長野県	+	-	-	-	-	-	-	-				-
	岐阜県	-	-	-	-	+	+	- +	- +	+	+	+	+
	<u>静岡県</u> 愛知県	_	_		_	-	+	+	+	+	+	+	+
	三重県	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C6	百貨店・スーパー販売額(前年同月比)												
	富山県	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	石川県	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
	福井県	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
	長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岐阜県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	静岡県	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	<u>愛知県</u> 三重県	+	+	+	+	+	+	- +	+	+	+	- +	+
	<u>二里</u> 県 滋賀県	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+ +	+	+ +	+ +	+ +	+ +
C7	<u>滋員県</u> 有効求人倍率(除学卒)	<u> </u>		· ·		<u> </u>	- · · ·	· ·	· ·	· ·	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
57	有効求べ信率(原手平) 富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一 石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	長野県	-	-	-		—	—	-	-	-	-	-	-
	岐阜県	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-
	静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	1	1	-	I	-	-	-	-
	三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		7	6	6	5	8	28	31	31	31	31	31	31
	拡張系列数												
	<u>振振系列数</u> <u>採用系列数</u> ヒストリカルDI	63 11.15	63 9.5%	63 9.5%	63 7.9%	63 12.7%	63 44.45	63 49.2%	63 49.2%	63 49.2%	63 49.2%	63 49.2%	63 49.2%

-

(出所)当財団「中部圏景気動向指数」。

できる。したがって、50(%)を下回った直前の 月である2018年12月が景気の山の候補となる。

中部9県のヒストリカルDIの推移を確認する と、2018年11月に47.6(%)まで低下し、50(%) を下回ったことがわかる。11月には、静岡県の生 産指数(鉱工業)、鉱工業用生産財出荷指数、滋 賀県の鉱工業用生産財出荷指数、投資財出荷指数 がマイナスに転じている。つまり、静岡県と滋賀 県の経済指標が下降に転じたタイミングであった と言える。なお、2019年2月には、ヒストリカル DIの水準が3分の1以下となっており、経済活 動の収縮が多くの経済部門に波及したことが確認 できる。したがって、50(%)を下回った直前の 月である2018年10月が景気の山の候補となる。

2. 景気の山の判定方法

中部圏景気基準日付の設定の基本的な考え方は 内閣府による全国の景気基準日付に従う。すなわ ち、前節で見たヒストリカルDIの動向を中心 に、3D(①波及度(Diffusion)、②量的な変化 (Depth)、③期間(Duration))の確認を行う。 また、他の重要指標(実質GRP(Gross Regional Product、域内総生産)、日銀短観の景況感等) の動向も併せて確認する。

具体的には、景気の山の判定に際しては、ヒス トリカルDIが50(%)を下回る(過半の指標が 下降トレンドとなる)直前の月を山の候補とした 上で、①波及度について、経済活動の収縮の波及 度(多くの経済部門に波及しているか)を、ヒス トリカルDIの水準が景気後退局面で3分の1以 下まで下降したかを目安に確認する。そして、③ 期間について、後退局面が5か月以上続いている かを目安に確認する。

なお、波及度の目安の「(ヒストリカルDIの水 準が) 3分の1以下まで下降」については、内閣 府による全国基準における「ゼロ近傍まで下降」 よりも高めに設定している。これは、地域におい ては景気のは行性が存在するため、景気後退が地 域全体に一様に表れることはまれであり、地域内 部で波及のタイミングが前後することから、複数 県の指標で算出されるヒストリカルDIがゼロ近 傍まで低下することはほとんどないという理由に よる。同様に、景気変動が地域内部で相殺されて 単一指標に明確に表れない可能性があることから、 CI一致指数の下降率で確認する②量的な変化や、 他の重要指標の動向は相対的に重視せず、参考程 度にとどめている点も、全国基準とは異なってい る。

3. 今次局面の判定について

ここでは、今次局面の景気の暫定山について、 前節で説明した判定方法に従い確認する。ただし、 全国のケースとは異なり、複数県を内包する地域 においては、ヒストリカルDIを3種類定義でき るため、波及度について確認した後に、最大3つ 存在する景気の山候補からCI一致指数等の動き を参考に1つに絞る必要がある。

東海3県については、図表3のとおりヒストリ カルDI-Aでは2019年4月が景気の山の候補とな る。なお、ヒストリカルDI-Bでは2019年4月、 ヒストリカルDI-Cでは2019年1月が景気の山の 候補となっている。1節で述べたとおり、ヒスト リカルDI-Aの水準は、2019年5月には3分の1 以下まで下降している。同様にヒストリカルDI-B では2019年5月、ヒストリカルDI-Cでは2019年 2月に3分の1以下まで下降している。以上から 波及度は十分であることが確認できる。ここで、 2019年1月と2019年4月を比較すると、CI一致 指数の水準がそれぞれ102.1、102.7であり、2019 年4月の値が大きい。2019年4月は2種類のヒス トリカルDI(ヒストリカルDI-A、ヒストリカル DI-B) が示している候補でもあることから、景 気の山の候補を2019年4月に絞る。次に、2019年 4月以降、後退局面が十分な期間続いているのか

^(※4)詳細は脚注3を参照。

^(※5)詳細は脚注2の資料を参照。以下の北陸3県、中部5県、中部9県についても同様。

を確認すると、CI一致指数の局所的なボトムと なっている2020年5月まで13か月が経過しており、 後退局面は既に5か月以上続いていることを確認 できる。また、参考までに量的な変化と他の重要 指標の動向を確認すると、量的な変化については、 4節で見るとおり、2019年4月から2020年5月ま でのCI一致指数の下降率が▲29.8%と十分な大き さであり、他の重要指標の動向についても、6節 で見るとおり、実質GRP、日銀短観の景況感、 景気ウォッチャー調査の景況感の動きと大きな齟 齬はない。以上から、2019年4月を東海3県の景 気の暫定山に設定することは、基準に照らし合わ せて妥当と判断される。

北陸3県については、図表3のとおりヒストリ カルDI-Aでは2018年8月が景気の山の候補とな る。なお、ヒストリカルDI-B、ヒストリカルDI-Cでも同様である。1節で述べたとおり、ヒスト リカルDI-Aの水準は、2018年10月には3分の1 以下まで下降している。同様にヒストリカルDI-B では2018年10月、ヒストリカルDI-Cでは2018年 9月に3分の1以下まで下降している。以上から 波及度は十分であることが確認できる。次に、 2018年10月以降、後退局面が十分な期間続いてい るのかを確認すると、CI一致指数の局所的なボ トムとなっている2020年6月まで22か月が経過し ており、後退局面は既に5か月以上続いているこ とを確認できる。また、参考までに量的な変化と 他の重要指標の動向を確認すると、量的な変化に ついては、4節で見るとおり、2018年8月から 2020年6月までのCI一致指数の下降率が▲31.0% と十分な大きさであり、他の重要指標の動向につ いても、6節で見るとおり、実質GRP、日銀短 観の景況感、景気ウォッチャー調査の景況感の動 きと大きな齟齬はない。以上から、2018年8月を 北陸3県の景気の暫定山に設定することは、基準 に照らし合わせて妥当と判断される。

中部5県については、図表3のとおりヒストリ カルDI-Aでは2018年12月が景気の山の候補とな る。なお、ヒストリカルDI-B、ヒストリカルDI-C でも同様である。1節で述べたとおり、ヒストリ

カルDI-Aの水準は、2019年5月には3分の1以 下まで下降している。同様にヒストリカルDI-B、 ヒストリカルDI-Cでは2019年2月に3分の1以 下まで下降している。以上から波及度は十分であ ることが確認できる。次に、2018年12月以降、後 退局面が十分な期間続いているのかを確認すると、 CI一致指数の局所的なボトムとなっている2020 年5月まで17か月が経過しており、後退局面は既 に5か月以上続いていることを確認できる。また、 参考までに量的な変化と他の重要指標の動向を確 認すると、量的な変化については、4節で見ると おり、2018年12月から2020年5月までのCI一致 指数の下降率が▲31.8%と十分な大きさであり、 他の重要指標の動向についても、6節で見るとお り、実質GRP、日銀短観の景況感、景気ウォッ チャー調査の景況感の動きと大きな齟齬はない。 以上から、2018年12月を中部5県の景気の暫定山 に設定することは、基準に照らし合わせて妥当と 判断される。

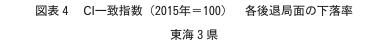
中部9県については、図表3のとおりヒストリ カルDI-Aでは2018年10月が景気の山の候補とな る。なお、ヒストリカルDI-Bでは2018年11月、 ヒストリカルDI-Cでは2018年8月が景気の山の 候補となっている。1節で述べたとおり、ヒスト リカルDI-Aの水準は、2019年2月には3分の1 以下まで下降している。同様にヒストリカルDI-B、 ヒストリカルDI-Cでは2019年1月に3分の1以 下まで下降している。以上から波及度は十分であ ることが確認できる。ここで、2018年8月、2018 年10月、2018年11月を比較すると、CI一致指数 の水準がそれぞれ101.5、102.1、101.4であり、 2018年10月の値が最大となる。そこで、景気の山 の候補を2018年10月に絞る。次に、2018年10月以 降、後退局面が十分な期間続いているのかを確認 すると、CI一致指数の局所的なボトムとなって いる2020年5月まで19か月が経過しており、後退 局面は既に5か月以上続いていることを確認でき る。また、参考までに量的な変化と他の重要指標 の動向を確認すると、量的な変化については、4 節で見るとおり、2018年10月から2020年5月まで

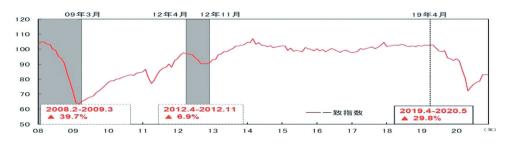
のCI-致指数の下降率が▲30.6%と十分な大きさ であり、他の重要指標の動向についても、6節で 見るとおり、実質GRP、日銀短観の景況感、景 気ウォッチャー調査の景況感の動きと大きな齟齬 はない。以上から、2018年10月を中部9県の景気 の暫定山に設定することは、基準に照らし合わせ

て妥当と判断される。

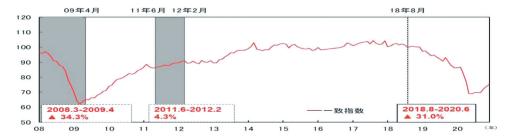
4. 量的な変化についての確認

ここでは、今次局面におけるCI一致指数の下 降率を確認し、過去の後退局面と比較する(図表

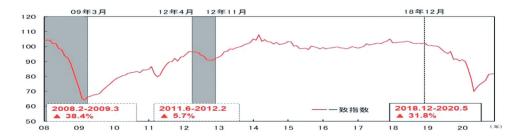




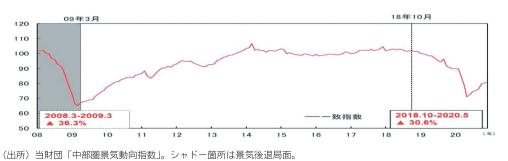












4)。併せて、今次と過去の拡張局面および後退 局面について、CI一致指数の各指標の寄与率を 比較する(図表5)。

東海3県の今次局面におけるCI-致指数の下

図表 5 CI一致指数の各指標の寄与率

前回拡張局面と今次拡張局面の比較

リーマンショックとコロナ禍の比較

東海3県

2009 年3月	2012 年 11 月		2008 年2月	2019 年4月
- 2012 年4月	- 2019 年4月		- 2009 年3月	- 2020 年5月
12.5	22.4	生産指数(鉱工業)	12.0	12.1
14.6	18.6	生産財出荷指数	14.8	10.8
3.5	-2.1	耐久消費財出荷指數	6.5	8.9
13.9	28.6	所定外労働時間(調査産業計)	15.7	16.5
6.5	12.1	投資財出荷指数	10.0	9.4
2.3	-3.9	百貨店・スーパー販売額(既存店)(前年同月比)	2.7	1.9
46.8	24.3	有効求人倍率	38.2	40.4
100.0	100.0	合計	100.0	100.0
	- 2012年4月 12.5 14.6 3.5 13.9 6.5 2.3 46.8	- 2012 年4月 - 2019 年4月 12.5 22.4 14.6 18.6 3.5 -2.1 13.9 28.6 6.5 12.1 2.3 -3.9 46.8 24.3	- 2012 年4月 - 2019 年4月 12.5 22.4 14.6 18.6 3.5 -2.1 耐久消費財出荷指数 13.9 28.6 6.5 12.1 投資財出荷指数 2.3 -3.9 有効求人倍率	- 2012 年4月 - 2019 年4月 - 2009 年3月 12.5 22.4 生産指数(鉱工業) 12.0 14.6 18.6 生産財出荷指数 14.8 3.5 -2.1 耐久消費財出荷指数 6.5 13.9 28.6 所定外労働時間(調査産業計) 15.7 6.5 12.1 投資財出荷指数 10.0 2.3 -3.9 百貨店・スーパー販売額(既存店)(前年同月比) 2.7 46.8 24.3 有効求人倍率 38.2

北陸3県

	2009 年4月 - 2011 年6月	2012 年2月 - 2018 年8月		2008 年3月 - 2009 年4月	2018 年8月 - 2020 年6月
生産指数(鉱工業)	18.5	21.1	生産指数(鉱工業)	16.9	10.9
生産財出荷指数	16.6	30.8	生産財出荷指数	14.8	10.6
耐久消費財出荷指数	0.3	-16.7	耐久消費財出荷指數	2.6	10.2
所定外労働時間(調査産業計)	12.3	3.4	所定外労働時間(調査産業計)	14.6	15.1
投資財出荷指数	10.1	11.4	投資財出荷指數	12.5	7.9
百貨店・スーパー販売額(既存店)(前年同月比)	4.1	3.1	百貨店・スーパー販売額(既存店)(前年同月比)	4.7	6.0
有効求人倍率	38.1	46.9	有効求人倍率	34.0	39.4
合計	100.0	100.0	合計	100.0	100.0

中部5県

	2009年3月	2012年11月		2008年2月	2018 年 12 月 - 2020 年5月
<u>牛本松美(林子巻)</u>	- 2012 年4月	- 2018年12月	<u> </u>	- 2009 年3月	
生産指数(鉱工業)	12.7	20.4	生産指数(鉱工業)	13.8	11.7
生産財出荷指数	16.4	19.7	生産財出荷指數	16.0	13.3
耐久消費財出荷指数	4.0	-8.2	耐久消費財出荷指數	7.1	7.9
所定外労働時間(調査産業計)	12.0	20.1	所定外労働時間(調査産業計)	14.5	12.8
投資財出荷指数	4.5	14.0	投資財出荷指數	8.8	8.1
百貨店・スーパー販売額(既存店)(前年同月比)	2.3	0.5	百貨店・スーパー販売額(既存店)(前年同月比)	3.0	4.6
有効求人倍率	48.0	33.5	有効求人倍率	36.7	41.7
合計	100.0	100.0	合計	100.0	100.0

	2009 年3月
	- 2018年10月
生産指数(鉱工業)	15.3
生産財出荷指数	16.8
耐久消費財出荷指数	-2.1
所定外労働時間(調査産業計)	14.2
投資財出荷指数	5.0
百貨店・スーパー販売額(既存店)(前年同月比)	2.2
有効求人倍率	48.6
合計	100.0

中部9県

	2008 年3月	2018年10月
	- 2009 年3月	- 2020年5月
生産指数(鉱工業)	14.7	12.1
生産財出荷指数	16.4	14.2
耐久消費財出荷指數	5.4	8.5
所定外労働時間(調査産業計)	15.3	14.6
投資財出荷指數	9.7	7.1
百貨店・スーパー販売額(既存店)(前年同月比)	4.2	4.4
有効求人倍率	34.3	39.1
合計	100.0	100.0

(出所)当財団「中部圏景気動向指数」。なお、便宜的に、リーマンショックの山を2008年2月(東海3県、中部5県)または3月(北陸3県、 中部9県)、コロナ禍の谷を2020年5月(東海3県、中部5県、中部9県)または6月(北陸3県)として計算している。 降率は2020年5月を谷と仮定すると▲29.8%であ り、リーマンショック時に相当する2008年2月か ら2009年3月の下落率▲39.7%よりも小さいが、 2012年4月から2012年11月の下落率▲6.9%より も大きい。同様に、北陸3県の今次局面における CI一致指数の下降率は2020年6月を谷と仮定す ると▲31.0%であり、リーマンショック時に相当 する2008年3月から2009年4月の下落率▲34.3% よりもわずかに小さい。中部5県の今次局面にお けるCI一致指数の下降率は2020年5月を谷と仮 定すると▲31.8%であり、リーマンショック時に 相当する2008年2月から2009年3月の下落率▲38. 4%よりも小さいが、2012年4月から2012年11月 の下落率▲5.7%よりも大きい。中部9県の今次 局面におけるCI一致指数の下降率は2020年5月 を谷と仮定すると▲30.6%であり、リーマンショッ ク時に相当する2008年3月から2009年3月の下落 率▲36.3%よりも小さいが、その差は大きいもの ではない。いずれにしても、どの地域においても、 コロナ禍を含む今次局面におけるCI一致指数の 下落率は、リーマンショック時と比較すれば小さ いが、後退局面として十分な大きさであることが 確認できる。なお、リーマンショックでは、外需 が極端に落ち込み、輸出産業を中心とする製造業、 とりわけ東海3県の自動車産業が大きなダメージ を受けた。比較すると、コロナ禍では、もちろん 外需の落ち込みの影響はあるものの、小売業、飲 食・宿泊業など対面サービス業への影響が特に大 きいという特徴がある。「ものづくり」地域とし ての中部圏において、CI一致指数の下落率がリー マンショックの方が相対的に大きいのは、こうし た背景によるものと考えられる。

次に、CI一致指数の各指標の寄与率を見ると、 どの地域についても、前回拡張局面では雇用面の 指標である有効求人倍率の寄与が大きかったのに 対し、今次拡張局面では生産面の指標(生産指数 (鉱工業)、生産財出荷指数)と雇用面の指標(所 定外労働時間指数(調査産業計)、有効求人倍率) の寄与が相対的に大きくなっていることがわかる。 また、2014年4月の消費税増税を反映して、消費 面の指標(耐久消費財出荷指数、百貨店・スーパー 販売額(前年同月比))が低迷したことも、今次 拡張局面の特徴と言える。最後に、後退局面につ いて、リーマンショック時と今次のコロナ禍を比 較すると、一見して目立った違いはないが、総じ て今次後退局面では消費面の指標の寄与が相対的 に大きく、生産面の指標の寄与が小さい。やはり、 リーマンショックとの比較において、コロナ禍は 製造業の生産活動よりも家計の消費活動そのもの を直撃したことが、経済指標にも表れていると言 えよう。

5. 拡張期間の長さについての確認

内閣府による全国の景気基準日付(図表6)で は、2018年10月を暫定山とした場合、2012年12月 からの第16循環の拡張期間は71か月となり、2002 年2月から2008年2月まで73か月間続いた、いわ ゆる「いざなみ景気」を超える「戦後最長」の拡 張期間とはならなかった。

図表1により、あらためて中部圏景気基準日付 における今次の景気拡張期間を確認すると、東海 3県では、2019年4月を暫定山とした場合、2012 年12月からの拡張期間は77か月であり、2009年4

	~	.] .	~		期間	
	谷	Ш	谷	拡張	後退	全期間
第14循環	2002年1月	2008年2月	2009年3月	73か月	13か月	86か月
第15循環	2009年3月	2012年3月	2012年11月	36か月	8か月	44か月
第16循環	2012年11月	(暫定) 2018年10月		71か月		

図表6 全国の景気基準日付

(出所)内閣府「景気基準日付」。

月から2012年4月までの前回拡張期間の37か月を 上回る長さとなっている。北陸3県では、2018年 8月を暫定山とした場合、2012年3月からの拡張 期間は78か月であり、2009年5月から2011年6月 までの前回拡張期間の26か月を上回る長さとなっ ている。中部5県では、2018年12月を暫定山とし た場合、2012年12月からの拡張期間は73か月であ り、2009年4月から2012年4月までの前回拡張期 間の37か月を上回る長さとなっている。中部9県 では、2018年10月を暫定山とした場合、2009年4 月からの拡張期間は115か月である。

単純な比較はできないが、東海3県、北陸3県 における今次の景気拡張期間の長さは、全国のい わゆる「いざなみ景気」の拡張期間73か月を上回 るものとなっている(中部5県は73か月ちょうど)。 海外経済の好調さにも支えられた今次の景気拡張 局面では、輸出産業など製造業が盛んな中部圏の 好調が相対的に長期にわたり続いたと考えられる。

6. 重要指標の動きの確認

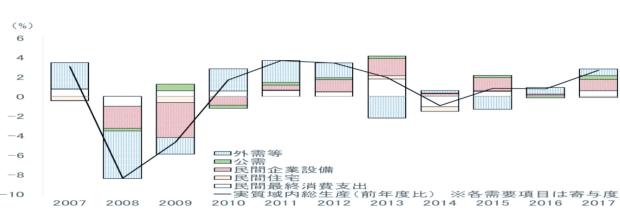
最後に、それぞれの地域における実質GRP、 日銀短観の景況感、景気ウォッチャー調査の景況 感の動きを確認する。

図表7によると、東海3県の実質GRPは、2014 年度にマイナス成長も、2015年度から2017年度ま で3年連続のプラス成長となっている。東海3県 の日銀短観における業況判断DI(全産業)は、 2018年12月調査でピークをつけてから徐々に低下 し、2020年3月調査以降はマイナスとなっている。 東海の景気ウォッチャー調査における景気の現状 判断(水準)DIは、2018年から徐々に低下し、 2019年前半にわずかに回復したものの、以降は低 下基調で推移した。以上からは、いずれの指標の 動きについても、東海3県のCI一致指数の動向 および2019年4月を暫定山とすることと大きな齟 齬はないことが確認できる。

また、図表8によると、北陸3県の実質GRP

は、2014年度と2016年度はマイナス成長、2015年 度と2017年度はプラス成長となっている。北陸3 県の日銀短観における業況判断DI(全産業)は、 2018年12月調査でピークをつけてから徐々に低下 し、2019年12月調査以降はマイナスとなっている。 北陸3県の景気ウォッチャー調査における景気の 現状判断(水準)DIは、2019年前半から急落し た。以上からは、いずれの指標の動きについても、 北陸3県のCI一致指数の動向および2018年8月 を暫定山とすることと大きな齟齬はないことが確 認できる。

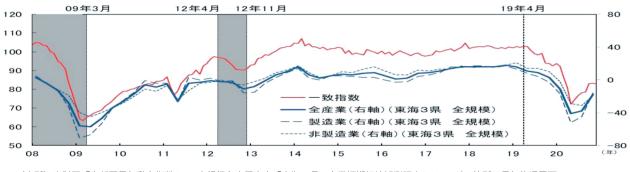
同様に、図表9、図表10を見ても、中部5県、 中部9県の指標の動きは、それぞれのCI一致指 数の動向および2018年12月、2018年10月を暫定山 とすることと大きな齟齬はないことが確認できる。



図表 7 東海 3 県の重要指標 実質GRP(東海 3 県計、前年度比)の動き

(出所)内閣府「県民経済計算」より当財団作成。

CI---致指数(東海3県、2015年=100)と 日銀短観 業況判断DI(東海3県、%ポイント)の比較



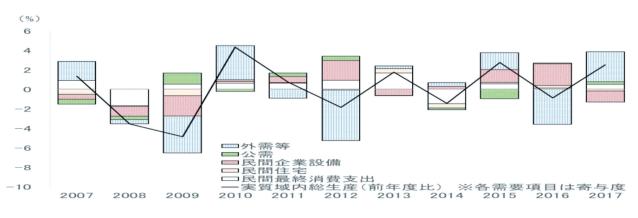
(出所)当財団「中部圏景気動向指数」。日本銀行名古屋支店「東海3県の企業短期経済観測調査」。シャドー箇所は景気後退局面。



CI---致指数(東海3県、2015年=100)と 景気ウォッチャー調査 景気の現状判断(水準)DI(東海)の比較

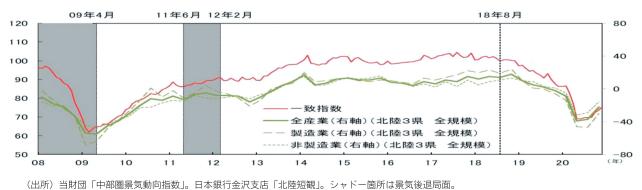
⁽出所)当財団「中部圏景気動向指数」。内閣府「景気ウォッチャー調査」。シャドー箇所は景気後退局面。

図表 8 北陸 3 県の重要指標 実質GRP(北陸 3 県計、前年度比)の動き



(出所)内閣府「県民経済計算」より当財団作成。

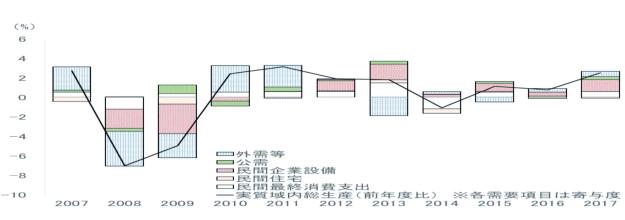
CI---致指数(北陸3県、2015年=100)と 日銀短観 業況判断DI(北陸3県、%ポイント)の比較





CI---致指数(北陸3県、2015年=100)と 景気ウォッチャー調査 景気の現状判断(水準)DI(北陸)の比較

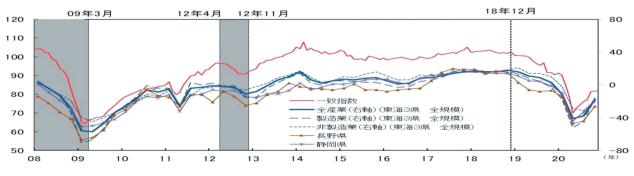
⁽出所)当財団「中部圏景気動向指数」。内閣府「景気ウォッチャー調査」。シャドー箇所は景気後退局面。



図表 9 中部 5 県の重要指標 実質GRP(中部 5 県計、前年度比)の動き

(出所)内閣府「県民経済計算」より当財団作成。

CI---致指数(中部5県、2015年=100)と 日銀短観 業況判断DI(東海3県、長野県、静岡県、%ポイント)の比較



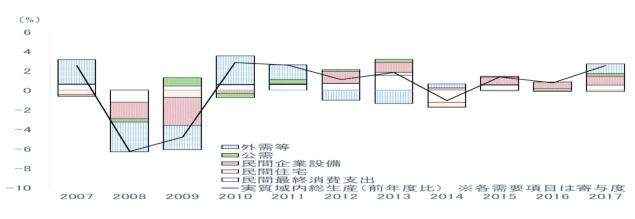
(出所)当財団「中部圏景気動向指数」。日本銀行名古屋支店「東海3県の企業短期経済観測調査」、松本支店「企業短期経済観測調査(長野県)」 静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果」。シャドー箇所は景気後退局面。



CI-致指数(中部5県、2015年=100)と 景気ウォッチャー調査 景気の現状判断(水準)DI(東海)の比較

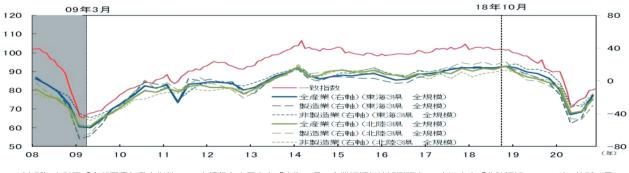
⁽出所)当財団「中部圏景気動向指数」。内閣府「景気ウォッチャー調査」。シャドー箇所は景気後退局面。

図表10 中部9県の重要指標 実質GRP(中部9県計、前年度比)の動き



(出所)内閣府「県民経済計算」より当財団作成。

CI一致指数(中部9県、2015年=100)と 日銀短観 業況判断DI(東海3県、北陸3県、%ポイント)の比較



(出所)当財団「中部圏景気動向指数」。日本銀行名古屋支店「東海3県の企業短期経済観測調査」、金沢支店「北陸短観」。シャドー箇所は景 気後退局面。



CI一致指数(中部9県、2015年=100)と

⁽出所) 当財団「中部圏景気動向指数」。内閣府「景気ウォッチャー調査」。シャドー箇所は景気後退局面。